



『ゆうこさんのルーペ』

多屋 光孫 || 文・絵 はが ゆうこ || 原案
ふじい かつのり || 監修
合同出版

公園で不思議な道具を使って本を読んでいる人がいます。はやたくんが「それは なんですか？」と尋ねると、ものを大きく見せてくれる「ルーペ」という道具だとその人は教えてくれました。はやたくんがルーペを覗くと、障害のある人との関わり方に困っている人の姿が…。

相手に「聞いてみる」ことがお互いを知る第一歩。障害のある人が暮らしやすい、へだたりのない社会を考えるきっかけになる本です。

図書館おすすめブックリスト

2022 年 7 月 発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで ♥フル充電!!

No.18 小学校4～6年生向け

『夢のねだん図鑑 きみの夢をかなえるのにいくらかかる?』

ライブ || 編著
カンゼン

あなたの夢は何ですか?この本を読めば、夢を実現するために必要なお金(値段)と方法が、リアルに分かります。例えば、遊園地を貸切するためには77万円、自分専用のジェット機を買うためには2億円など、身近な夢から壮大な夢まで、実現するためのプロセスがユニークなイラストとともに、ひと目で知ることができます。



『野生のロボット』

ピーター・ブラウン || 作・絵 前沢 明枝 || 訳
福音館書店

無人島に偶然流れ着いた新品のロボット「ロズ」は、野生動物をお手本に生きるすべを学んでいく。最初は怪物と思われ排除されそうになるが、ガンの子どもを親代わりに育てることになったことで、動物たちと助け合い、やがて受入れられていく。しかし島に追跡ロボットが現れ…! 最後までハラハラドキドキの展開です。

リアルな自然・生物の描写に引き込まれます。続編もあります。

『ぼくらのスクープ』

赤羽 じゅんこ || 著
講談社



イダッチは、社会科見学で出会った新聞記者に憧れ、クラスの新聞係になります。正義感が強いイダッチは、真実を求めスクープをあげたいのに、相棒の無口で変わり者の「魔王」が「真実とか、嘘か嘘じゃないかは人によって違うから、簡単に決められない」と言い出し、出鼻をくじかれてしまいます。一度は新聞作りをやめそうになったイダッチは、数々の出来事を乗り越えて魔王と打ち解け、本当にみんなが読みたい記事を書き始めます。

『ジョナスのかさ』



ジョシュ・クルート || 文
アイリーン・ライアン・イーウェン || 絵
千葉 茂樹 || 訳
光村教育図書

雨に濡れることが大嫌いなジョナスは、旅先で他国では傘をさしていることを知ります。けれどその頃のロンドンでは傘をさすことはみっともないこととされていました。ロンドンに戻ったジョナスは、笑われてもからかわれても、30年間傘をさし続けました。すると雨の日に、1人、また1人と傘をさす人が増えていき…。

「当たり前」に疑問を持つと世界を変えられるかもしれません。傘の歴史についても学べます。

『かず 日本のことばずかん』

神永 暁 || 監修
講談社

この本では、自然・文化・伝統など、様々な場面で使う「数」を用いて表現する言葉を知ることができます。例えば、日本人が好んで使う「石の上にも三年」「三日ぼうず」など普段使っている身近な言葉から、「六花(りっか)」など、あまり耳にしない言葉についても説明されています。数々の表現から、日本語の奥深さを感じられる一冊です。



『神様のパッチワーク』



山本 悦子 || 作
ポプラ社

4年生の結(むすぶ)の家族は、特別養子縁組で家族になった。それは「ふつう」のことだったのに、転校生のあかねに「かわいそう」と言われた結は納得がいかない。血がつながってないってそんなに变？ 姉の香も最近様子がおかしくて…。

家族のかたちは、それぞれ。バラバラだった布を合わせてできるパッチワークのような家族をつなぐ想いに、心があたたかくなる物語です。

『あしたのことば』

森 絵都 || 作
小峰書店



友達の一言が、もやもやと心にひっかかる。言おうとして言えなかった言葉がある。そんなことはありませんか？ この本には「言葉」をテーマにした、8つの短編が収められています。友達とのちょっとしたすれ違いや、胸に積み重なった思いも、言葉にするとほんの少し心が軽くなるかもしれません。8人のイラストレーターによる、それぞれ雰囲気の違いの違う挿絵も楽しめますよ。あなたに似た“誰か”はいましたか？

『嘘吹きネットワーク』

久米 絵美里 || 著
PHP 研究所

野間小の6年1組では、SNSで出回っている「デマ」が問題になり、学級委員の理子は学校とクラスを守るため、ニセの画像や動画を流している疑いのあった少年・錯(さく)を訪ね、問いかけます。不思議な能力を持つ錯には、うその情報を見分ける力があって…。

ネット社会での生き方を、子ども達に考えさせてくれるお話です。



『もしもトイレがなかったら』

加藤 篤 || 著
少年写真新聞社



もしも災害が起こってトイレが使えなくなったら、どうしますか？ がまんする、外でする、仮設トイレが届くまで待つ、流すための水を探すなど、いろんな方法がありますが、果たして上手くいくでしょうか？

この本は、あなたが健康に安心して暮らすために必要なトイレについて知るための本です。“もしも”のときに役立つ知識が得られますよ。